



ベース車両：2016年式 XL1200CX ROADSTER



なんと、美しいことか。思わず溜息がこぼれる。タンク、フニダー、シートカウルなど外装をカーボンとした見るからに軽快なカフェレーサースタイル。無駄のないこのスタイリッシュさは、ライダーなら誰もが認めるところだろう。

ハイレタービッドソンが好きであるか否かなど関係なく、モーターサイクルとして、いやそこに存在しているだけで、もう惹かれずにはいられなくなってしまう。

ベース車両はXL1200CX Roadスター。フロント19、リア18インチの専用アルミホイールに、インナーチューブ径43mmの倒立式フロントフォークがセットされた強力な足まわりを持つスポーツスターの最高峰である。洗練されたボディシェイプで、カスタムシヨでも際立つ存在感を放つ「シユアシヨット」(千葉県八街市)が手を使った。

スタンダードの残しておきたいノーマルパーツはそのまま活かしつつ、クオリティを徹底追求した同社のカーボンパーツたちなどオプションを再構築している。シートレールをバツリとカットし、軽快なデルエンドを演出しているのも見応えがあるし、クリップオンハンドルは7度という絶妙な垂れ角で、クラウチングスタイルとなるアグレッシブなライディングポジションをもたらす。

乗れば、感激が続く。サイドスタンドを払って、車体を引き起こした瞬間から圧倒的な軽さを感じ、上半身を前屈させてクリップを握れば、もう昂ぶる気持ちを抑えられない。ビレット製のバックステップも程良い位置で、戦闘的ともいえる。攻めのライディングポジションが、スポーツマインドをかき立てる。

実際、コーナーではフロント荷重が増

SURESHOT

SPEED SLIM CAFE CARBON PACKAGE

Text / Takao Aoki 文=青木タカオ
Photographs / Kazumi Fujimura 写真=藤村のぞみ
取材協力: SURESHOT TEL.043-812-0900
<https://sureshot.jp/>



美しいシェイプと
軽さという武器を手に入れた
カフェレーサーカスタム



美しい仕上がりを見せる SURESHOT オリジナルのカーボンパーツ群に、見る者は目が離せなくなるだろう。軽量化に大きく貢献し、ロードスターのスポーツ性能を飛躍的に向上させるのももちろん、揺るがないバイクレイヤーから醸し出される高級感が全身に満ち溢れている。それでいながら主張し過ぎることなく、エンジンをはじめ全身をブラックアウトしたシャシーによく馴染んでいるのも見事としか言いようがない。同社はさらにレース専用部品として「スピードカフェカウル」(カーボン税別16万8000円、汎用品、プラケット無し、スクリーン付き)もリリースしており、それを装着した姿も見たくてしまう。つまり、今回紹介した「SPEED SLIM CAFE Carbon Package」はほんの一例に過ぎないのだ。カスタムの可能性は無限大に拡がっている。



■カスタムメニュー

SURESHOT スピードスリムカフェパッケージ カーボン 22万8000円(税別)
 SURESHOT スピードスリムカフェシートカウル カーボン 19万8000円(税別)
 SURESHOT カーボンサイドカバー 5万8000円(税別)
 SURESHOT スピードスリムフロントフェンダー 4万8000円(税別)
 SURESHOT スピードスリムリアフェンダー 4万4000円(税別)
 オプション 本革シート/レザーシート(STUDIO WOKINI製)
 オプション 低反発3層構造シート/スポンジ
 フレームシールド/レースシート加工
 インナーフェンダー/カット加工/整形 取付プラケット追加
 フレーム部分塗装
 HD750 CHLINS ブラックライン 336mm CHLINS ブラックライン 336mm
 エンジン用 車体用ダクト 25mm ブラックセタコート加工
 フロントウインカー (TRAMP)
 バックミラー (PM)
 フロントブレーキホース/ショート加工
 メーター/スライショ/ケーター (RSD)
 専用インジケータ (RSD)
 (LED)ヘッドライトユニット (純正オプション)
 エレクトロニクス/ヘッドライトユニット (RSD)
 メーター/プラケット/アダプター製作
 エアクリーター ネット (RSD Velocity Stack)
 エキゾースト ASSY (TRAMP チタン 2in1)
 デイル/クランク EPI/チューナー ECM 置き換え
 DYNOJET シャーシ/タイキ セッティング
 バックストップ/ブレーキ (TRAMP)
 フロントブレーキ/スポンジ 4POT キャリパー (BLK×RED)
 フロントブレーキ/サポーター (MISUMI)
 フロント RCS ブレーキマスターキット 19

機械式スイッチキット 配線加工
 MS クラッチレバー ブラック (MISUMI)
 クラッチレバー/マルダー ブラック (MISUMI)
 スピードボックスカバー 左右 (MISUMI)
 Rear ブレンボキャスティング 4POT キャリパー (BLK×RED)
 Rear キャリパー/サポーター (MISUMI)
 Rear ローター (11.5") (MISUMI)
 Rear ブレーキホース製作
 フロントブレーキカバー (RSD)
 フロントブレーキガード (RSD)
 ベルトガード (RSD)
 ヘルメット/リア (RSD)
 クリア/デモ/カバー (RSD)
 リアマスターキャップ (RSD)
 ステッド/マスターキャップ/ボルト (RSD)
 レール/コレクション ロッカー/ボックス/カバー アッパー (純正オプション)
 レール/コレクション ロッカー/ボックス/カバー ロワー (純正オプション)
 レール/コレクション キャブ/カバー (純正オプション)
 レール/コレクション プライマリ/カバー (純正オプション)
 サイマ/マウント/コイル/プラケット製作
 ティラー/プラグ/コード加工/取付 コイル/移設
 ショック/下/配線/配線/直し
 ショック/キャップ/ブラック/セタコート加工
 オイル/タンク/キャップ & リング/ブラック/セタコート加工
 ショック/キャップ/ブラック/セタコート加工
 オイル/タンク/キャップ & プラケット/セタコート加工
 エンジン/タイア & シルバー/リール/ペイント (RIO STUDIO)

カーボン外装セット タンク、サイドカバー左右、シートカウル一式 44万8000円(税別)

SURESHOT

SPEED SLIM CAFE CARBON PACKAGE



自在に操れる人車一体感がある

えなごころとマスの集中化、軽量化によって旋回性が高まっている。シートも体重移動がしやすく、イン側へ荷重をかけることで、シートと車体がスムーズに連携していく。コーナーアプローチが軽快で、ロードスターの身のこなしが段々軽くなり、見かけ倒しなどではなく、乗り込むうちに、そのポテンシャルの高さがわかってくる。ブレーキで強化したブレーキシステムもコントロールしやすく、進入で無理が効く。バンク中も接地感がしっかりとあり、コーナー出口へ目先を向けると素直に立ち上がり、トラップのチャンゼイのファンネルキットで吸排気系のセッティングも見直され、加速も鋭い。オーリンズのリアシックも初期ではしなやかに動き、奥ではしっかりと踏ん張ってくれる。ストリートやワインディングで最適な味付けに細かく調整されていて、車体とのマッチングがとてもしやすい。見た目では神経質そう、過激な乗り味をイメージしてしまいがちだが、すべてが上手に調和され、運動性能を高めたスポーツスターらしいレンドリーさを失っていないところに舌を巻く。これは、作り手が乗り手のことをしっかり考えているからこそ成せる。走りながら思い出し、合点がいくのは、ビルダー相川拓也氏の「ウチはカスタムショップである前に、バイク屋さん。なんです」という言葉。扱うバイクはハーレーダビッドソンだけでなく、原付スクーターからモーター問わずすべてをカバーし、普段乗るための整備や修理をおこなうのが、まず基本というスタンスをシアショットは貫く。この人車一体感は、そうした理念から生まれている。



■カスタムメニュー

SURESHOT スピードスリムカフェタンク 黒ゲル 17万8000円(税別)
 SURESHOT スピードスリムカフェシートカウル 黒ゲル 15万8000円(税別)
 SURESHOT スピードスリムグリップオンハンドル(右のみミラー取付分延長)
 オプション 本車ベースハイドレインゲート(STUDIO WORKING製)
 フォーバルヘッドライト加工塗装
 インナーフンダーカット加工塗装 取付ブラケット追加
 フレーム部分塗装
 HD756 OHLINS ブラックライン 336mm OHLINS ブラックライン 336mm
 オールスリム 車高調整アダプター 25mm ブラックセラコート加工
 Oberon エアロブレーキレバー、クラッチレバー
 VANS×CULTラバーグリップ×スプロウ
 パーセントウィンカー(motogadget m-Blaze Disk)
 パーセントミラー(motogadget m-View Spy)
 Frontブレーキホースショート加工
 メーター＆ライトリロケーター(RSD)
 専用インジゲーター(RSD)
 LEDヘッドライトユニット
 ヒレットヘッドライトベゼルキット(RSD)
 メーターブラケットアダプター 製作 セラコート仕上げ
 エアウリーナード(RSD Velocity Stack)
 エキゾースト ASSY(RSD Tracker 2-1)
 デュアルリンクリザーブタンク EGM 置き換え DYNOJET シャーシダイナモ セットアップ
 ミッドコントロールキット(RSD)
 Rearブレーキホース製作
 タンクキャップ ブラックセラコート加工
 オールタンクキャップ&リング ブラックセラコート加工
 タンク 塗装(ソリッド オリーブ)
 L&R サイドカバー 塗装(ソリッド オリーブ)
 シートカウル塗装(ソリッド オリーブ)
 ノーマルフロントフンダー 塗装(フラットブラック)
 ピンストライプ ペイント(BIG STUDIO ブラウニングアイボリー)
 Frontタイヤ MICHELIN ANAKEE WILD 120/70R19
 Rearタイヤ MICHELIN ANAKEE WILD 150/70R18
 ETCアンテナステー 製作

湾曲を描く曲線とエッジの効いたライン。芸術的なシルエットに、心奪われる SURESHOT オリジナルのエクステリアパーツたちだが、カーボンだけでなくFRP製をチョイスすることもできる。黒ゲルコートは上だけでプロダクトされ、カスタムをオーダーしたオーナーは、どんなペイントを施すか想するだけでワクワクしているだろう。この「Dirt Café」では、レトロモダンなウタギ色に塗られ、

その配色もまた唯一無二の輝きを放っている。そして、ひと際高い存在感があるのがシートカウルだ。現行スポーツスターのシートレール幅はワイドだが、カウルの頂点は極限までスリムに仕上げられ、軽快なテールエンドを演出した。テール/ブレーキ灯やターニングナルなど灯火器類もカウル内に埋め込んだ。このリヤビューを手に入れたライダーは、少なくないだろう。

店に行けば、こうしたセンス鋭いカスタムが所狭しと並んでいる。相川氏は笑顔で言う「気軽にどうぞ」と。

2in1トラッドカーマフラーやファンネルキットでエンジンチューニングを含めた吸排気セッティングが施されているのは、先に紹介したスピードスリムカフェ(カーボパッケージ)と同じで、トルクフルなエンジンや身のこなしの軽さは変わらない。

この「Dirt Café」も、同社オリジナルのFRP外装によってシャシーが軽量化され、ロードスターのスポーティさがいっそう際立っている。また、オフロードタイヤにしろ、切り返しやコーナー進入でヒラッとした軽快なハンドリングが感じられ、アーバンスポーツとしての資質の高さがそこにあふれている。

「この「Dirt Café」も、同社オリジナルのFRP外装によってシャシーが軽量化され、ロードスターのスポーティさがいっそう際立っている。また、オフロードタイヤにしろ、切り返しやコーナー進入でヒラッとした軽快なハンドリングが感じられ、アーバンスポーツとしての資質の高さがそこにあふれている。」

ロードスターをベースとしたカフェレーサーはまだある。「Dirt Café」は、そのネーミングが示す通り、プロダクトタイプのタイヤを履き、マフラーもアップタイプとして土の匂いが漂う。

休日にはオフロードバイクで林道を走る相川氏らしいとも言える。メーカーはもろろん、ジャンルやカテゴリーにも縛られないシチュエーションのスタイルを象徴するかのようない台となっている。そのスタイリッシュさから、他国メディアの取材や海外のカスタムイベントに招待されるなど、ワールドワイドな広がりを見せている相川氏だが、「実際に乗ったとき、面白いかどうか」が肝心であることに決まっていた。カラムショーに出展するマシンであっても、決して飾りではないオートバイ本来の魅力をこころと追求している。だからこそ、機能美にあふれているのだ。

“Dirt Café”を名乗る アーバンスポーツ



SURESHOT TAKUYA AOKAWA

相川拓也
 神戸生まれ神戸育ち。18歳のときに移住して来た千葉の地で、2003年に同店を開業。2018年よりシャシダイを導入してインジェクションチューンにも注力。手がけるバイクはメーカー、ジャンルを一切問わない。

SURESHOT XL1200CC [Dirt Café]

ベース車両：2017年式 XL1200CC ROADSTER